



DGA講座「エネルギー変換システム」II

一学び直しから始め、アップスケーリングでグローバル博士人材へ

企業の若手技術者の皆様へ！

DGAは、日独国際連携した「博士後期課程」を利用する学び直し / アップスケーリングを提案します。

会場

名古屋工業大学 御器所キャンパスまたは
ステーションAi (ともに、JR/ 地下鉄「鶴舞駅」下車)

定員
20名
程度

対象
企業における
若手社員

全**4回**

事前予約制
無料

講座 II
1

光－光エネルギー変換

日時 2025年3月19日(水) 14:30-17:00 場所 ステーションAi 大会議室2

生命・応用化学類 教授 早川 知克 物理工学類 助教 木村 耕治

ガラス構造を利用した新しい光機能性材料の開発とそのLED照明への応用が注目されている。本講座では、ガラス中の遷移金属元素の偏析構造が生み出す光学特性と、その分子動力学法によるモデリングの取り組み、放射光X線データを用いた逆モンテカルロ法による構造解析など新たなガラス研究の事例を紹介する。

講座 II
2

電気－機械エネルギー変換システム

日時 2025年6月11日(水) 15:00-17:30 場所 名古屋工業大学 2号館3階会議室1(304B)

電気・機械工学類 教授 小坂 卓 電気・機械工学類 准教授 関 健太

機械構造物の振動を効果的に抑制するためには、センシング・アクチュエーション・機構 / 制御設計技術が一体となって機能することが不可欠である。本講座では、モータの動作状態に応じた機械共振の制御と圧電材料を用いた機械システムの制振制御の事例を紹介する。

講座 II
3

エネルギー変換エレクトロニクス

日時 2025年9月3日(水) 14:30-17:00 場所 ステーションAi 大会議室1

電気・機械工学類 教授 加藤 正史 電気・機械工学類 准教授 岸 直希

半導体などのエレクトロニクス材料は、光や熱のエネルギーを電気や燃料という利用しやすいエネルギーに変換する能力を有している。本講座では様々なエレクトロニクス材料によるエネルギー変換の実例を紹介する。

講座 II
4

量子ビームと計算科学によるエネルギー変換材料解析

日時 2025年12月17日(水) 15:00-17:30 場所 名古屋工業大学 1号館2階 会議室2(201A)

物理工学類 教授 林 好一 物理工学類 准教授 小林 亮

材料のもつ性能を100%発揮するには、その原子構造と電子状態を理解することが重要である。本講座では、放射光などの量子ビームによる評価と計算科学の双方から、これらについてのアプローチを紹介する

